

# 「新しい豊かさ」の創造へ ～挑む予算2016～

## 【平成28年度当初予算案のポイント】

滋賀県

# 夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀の実現に向けて

Mother  
Lake

2015.3

2015.10

2040

「新しい豊かさ」の創造

滋賀県基本構想  
策定

人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略  
策定

基本構想 7つの重点政策の推進

基本構想  
推進の  
エンジン

総合戦略 19のプロジェクトの推進

## H28年度予算

基本構想推進 2年目  
総合戦略 本格実施年

「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」をエンジンとして、「新しい豊かさ」を具現化すべく果敢に挑戦

H27予算

H29  
予算

H30  
予算

...

夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀の実現

県民との対話・共感・協働による課題解決

# 基本構想推進のエンジンとなる総合戦略プロジェクトの展開



## 滋賀県基本構想（7つの重点政策）

1 子どもの生きる力を育み、若者や女性が輝く社会の実現

2 すべての人に居場所と出番があり、最期まで充実した人生を送れる社会の実現

3 滋賀の強みを活かし、新たな強みを生み出す滋賀発の産業の創造

4 琵琶湖をはじめとするめぐみ豊かな環境といのちへの共感を育む社会の実現

5 豊かに実る美しい地域づくりと滋賀・びわ湖ブランドの発信

6 「文化とスポーツの力」を活かした元気な滋賀の創造

7 人やものが行き交う活力ある県土づくりと安全・安心社会の実現

## 人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略（19のプロジェクト）

「結婚・出産・子育てするなら滋賀」プロジェクト☆

「豊かな学びのフィールド・滋賀」人づくりプロジェクト☆

“ひとつながり”の地域づくりプロジェクト

働く力・稼ぐ力向上プロジェクト☆  
高齢者の社会参加・健康長寿実現プロジェクト

滋賀ウォーターバレープロジェクト☆

次世代のための成長産業創出プロジェクト☆

産業人材育成・確保プロジェクト☆

滋賀エネルギーイノベーションプロジェクト

琵琶湖と人の共生でにぎわい創生プロジェクト☆

移住促進プロジェクト☆

滋賀の素材・魅力磨き上げプロジェクト☆

「山々里々湖」農山漁村つながりプロジェクト

「世界農業遺産」プロジェクト

滋賀の農業次世代継承プロジェクト

「東京オリンピック・パラリンピックで滋賀を元気に！」プロジェクト

持続可能な県土づくりプロジェクト

交通まちづくりプロジェクト

地域の防災・防犯力向上プロジェクト

滋賀らしいゆとり生活再生プロジェクト

注）☆印は、総合戦略上、人口減少が進行する地域に直接的な効果が期待できる8つのプロジェクトと琵琶湖の保全・再生の取組を進めるプロジェクトで、重点的に取り組むプロジェクト

# 予算編成方針

「滋賀県基本構想」と「滋賀県行政経営方針」に基づき、施策の着実な展開に向けて取り組む、「挑む」予算の編成

## 基本方針

- ① 「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の実現に向けて、「新しい豊かさ」の創造・追求・具現化を図るべく、果敢に挑戦していく
- ② 安定的で持続可能な財政基盤の確立に向けて、引き続き歳入・歳出両面から財政健全化の取組を進める

## 編成方針

- ◆ 7つの重点テーマの設定による戦略的な施策構築
- ◆ 国の動きに呼応した施策の推進と国の施策・制度の活用
- ◆ 市町との連携強化
- ◆ 多様な主体との協働・連携
- ◆ 部局間連携の徹底
- ◆ 財政健全化の推進

## 当初予算案の規模

|      | 予算額     | 対前年度当初予算比 |        |
|------|---------|-----------|--------|
|      |         | 金 額       | 比 率    |
| 一般会計 | 5,446億円 | + 60億円    | + 1.1% |
| 特別会計 | 2,261億円 | + 104億円   | + 4.8% |
| 企業会計 | 374億円   | ▲ 19億円    | ▲ 4.8% |

※企業会計は、収益的支出および資本的支出の合計を示しています。

**平成28年度当初予算では、「新しい豊かさ」を創造するため、基本構想7つの重点施策を着実に推進**

- 政策課題協議における議論を踏まえ、重点化特別枠を設定
- ファシリティマネジメントの取組を計画的に推進するため「長寿命化等推進特別枠」を設定
- 職員一人ひとりの意識を改革し、斬新で自由な発想を活かすために特別枠を設定（「施策提案」および「キラリひらめき改善運動に係る改善提案」）
- 同時に、将来を見据え、財政規律を守りつつ、限られた財源を効率的・効果的に配分

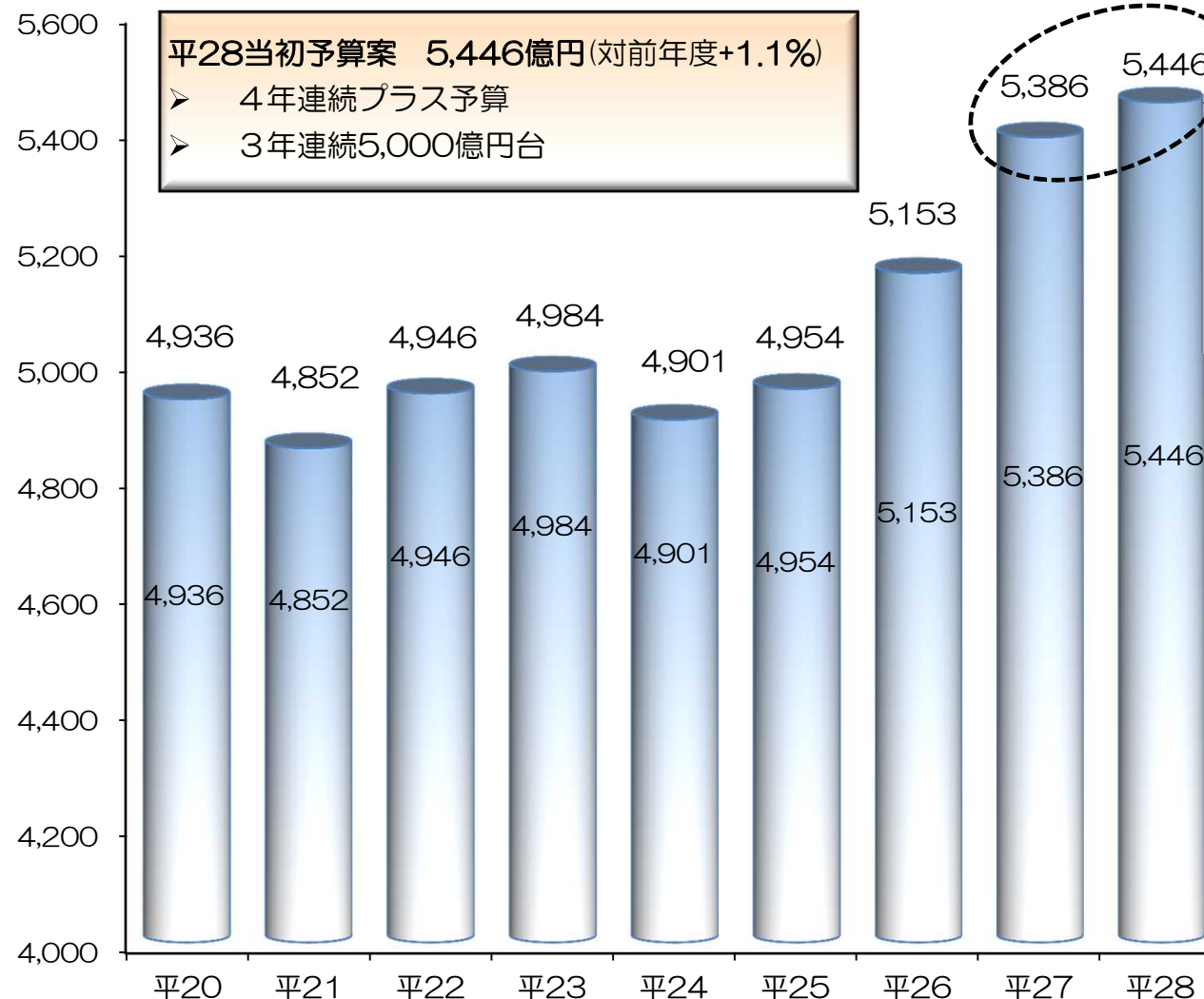
**プラス予算  
【4年連続】**

**プライマリー  
バランスが黒字  
【3年連続】**

**詳細は資料1へ**

# 当初予算額の推移

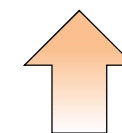
(億円)



平28当初予算案 5,446億円(対前年度+1.1%)

- 4年連続プラス予算
- 3年連続5,000億円台

平28当初予算  
5,446億円



+60億円  
(+1.1%)

平27当初予算  
5,386億円

## 【主な増要因】

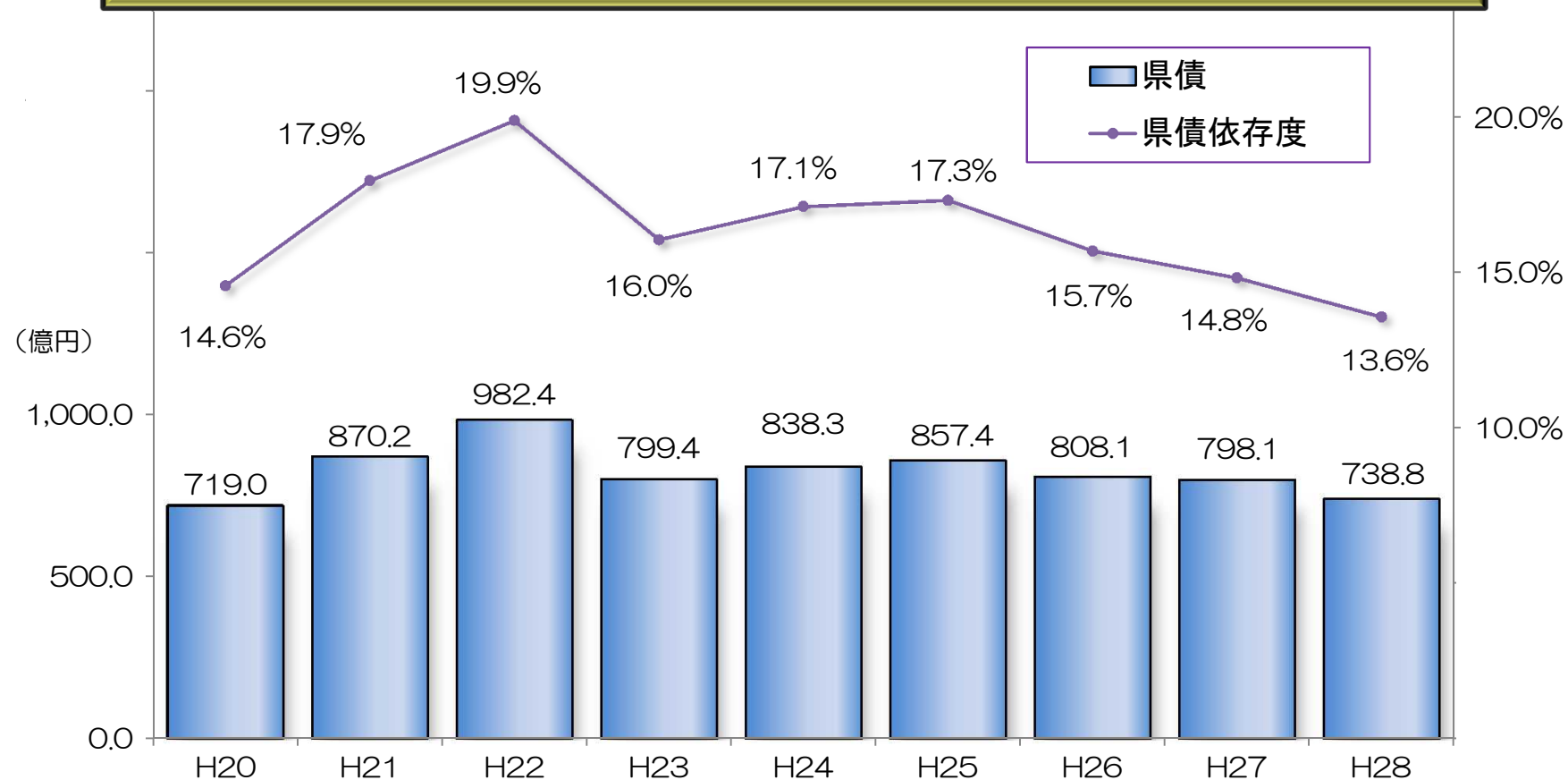
- 子育て関連施策  
(多子世帯子育て応援事業等)  
+17億円  
(28億円→45億円)
- 介護保険給付費県費負担金  
+10億円  
(129億円→140億円)
- 後期高齢者医療給付費県費  
負担金 + 6億円  
(106億円→112億円)
- 学習船建造事業費  
+ 8億円  
(11億円→19億円)

(年度)

## 県債発行額、県債依存度（当初予算ベース）の推移

県債発行額は、3年連続の減少。

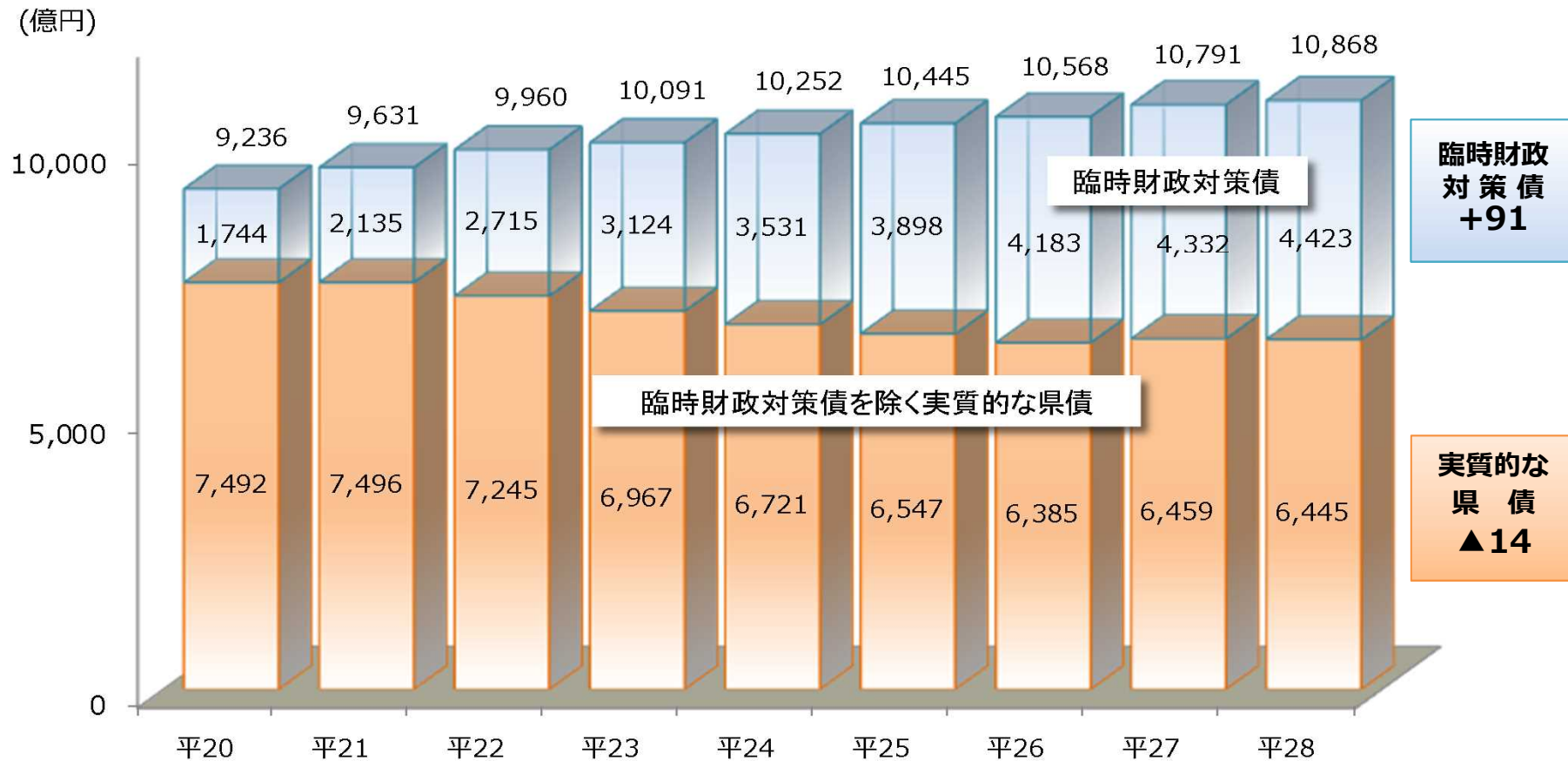
県債依存度についても、地方税等の増加により、3年連続の減少。





## 臨時財政対策債を除く県債残高は減少

県債発行を抑制し、発行額は減少するが、県債残高は増加。  
**臨時財政対策債を除く県債残高については、減少傾向。**

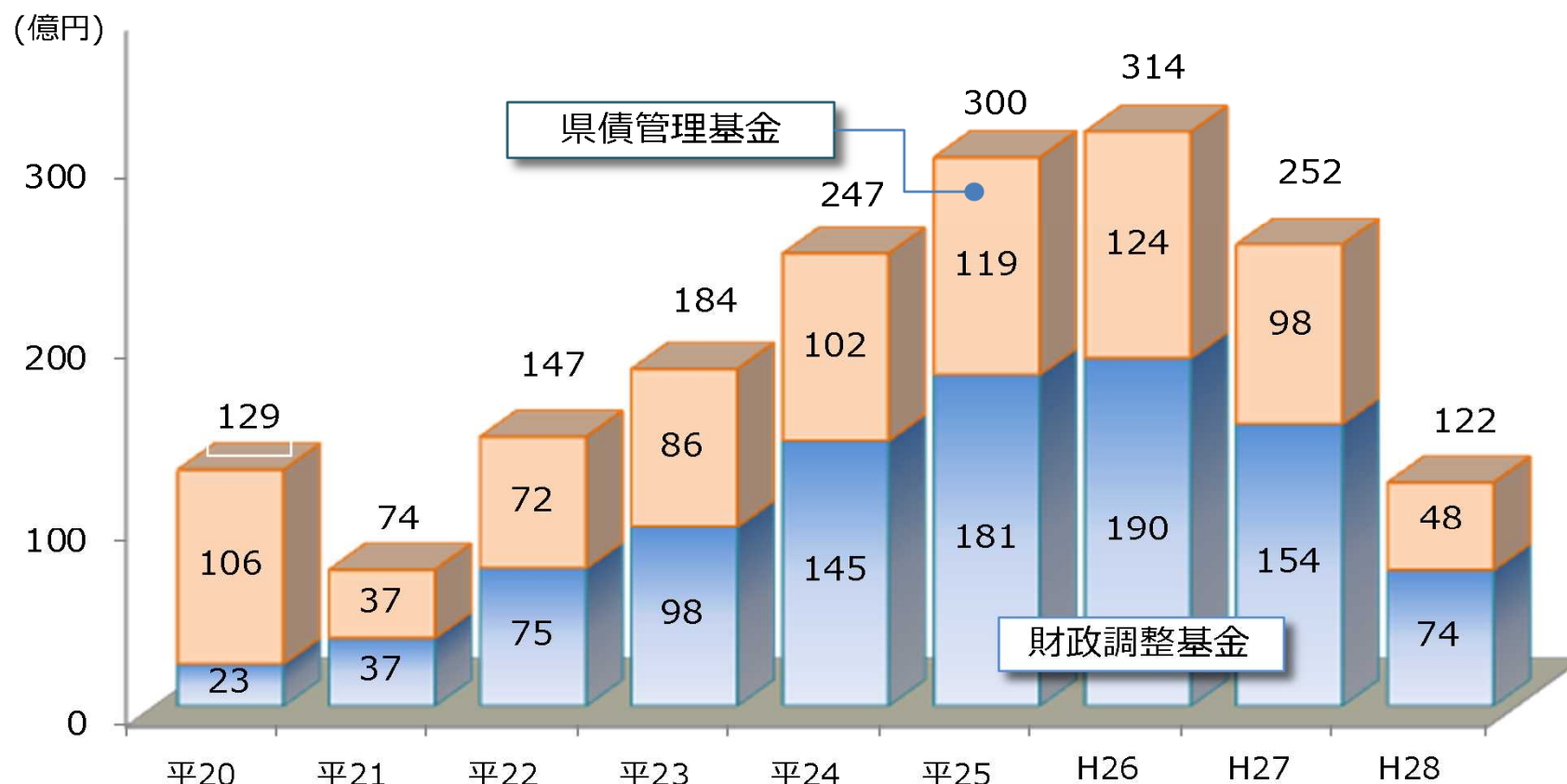


(注) 平成26年度までは決算額、平成27年度は2月補正（国補正分等）後予算額、平成28年度は当初予算額に基づく各年度末現在高見込額です。



## 財源調整的な基金残高の状況

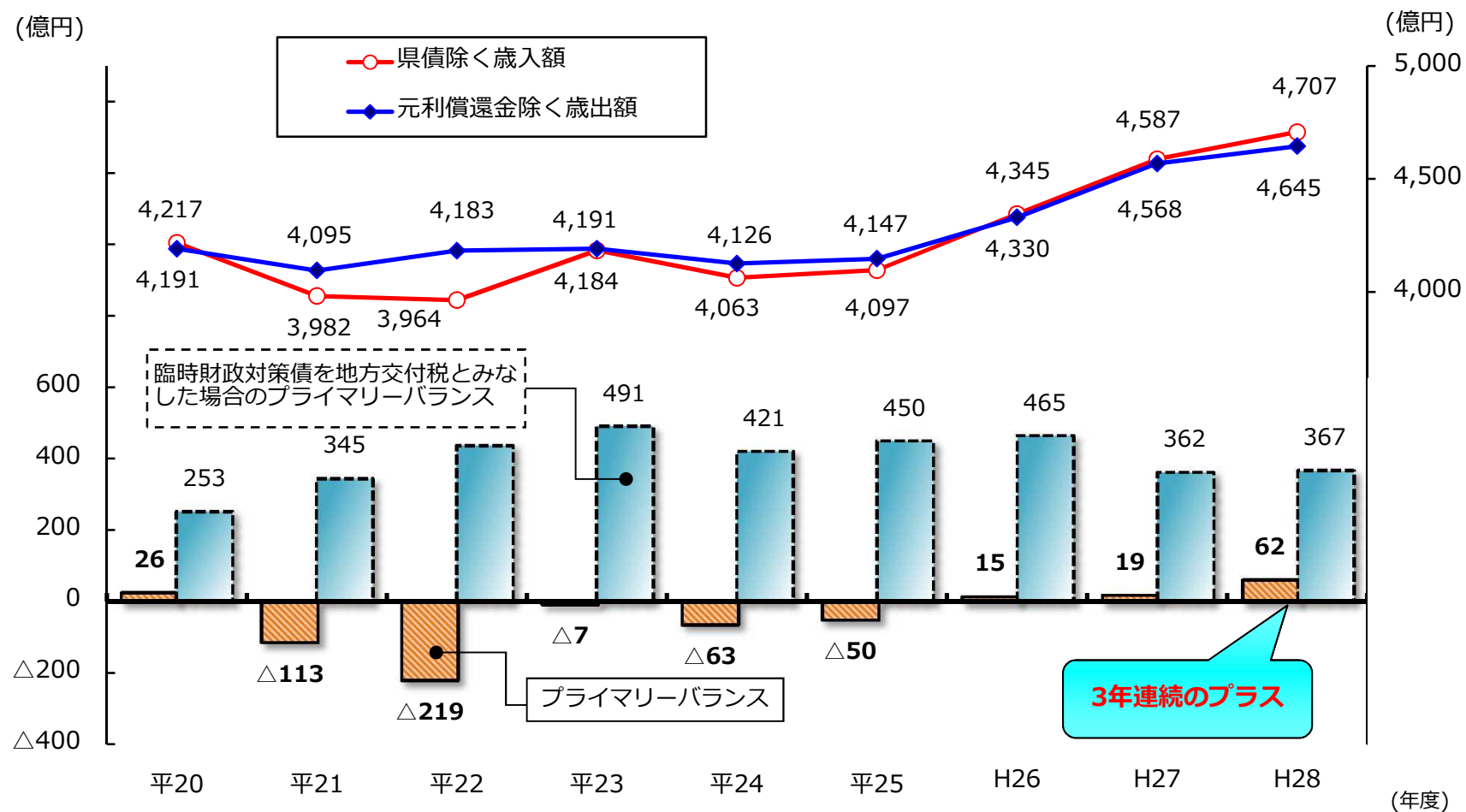
財源調整的な基金である、**財政調整基金**および**県債管理基金**については、活用により残高は減少するが、なお一定額は確保



(注) 平成26年度までは決算額、平成27年度は2月補正（国補正分等）後予算額、平成28年度は当初予算額に基づく各年度末現在高見込額です。

# プライマリーバランス

プライマリーバランスは、  
**3年連続の黒字**を維持（当初予算ベース）



# 平成28年度の「挑む」予算



## 未来に向けて

本格的な人口減少社会を見据え、これからの滋賀を担う子どもや若い世代の未来を切り拓くとともに、新しいエネルギー社会の構築を目指します。

- ① 新 「結婚・出産・子育てするなら滋賀」 応援事業 希望する人が結婚できるよう若者を社会全体で応援
- ① 新 多子世帯子育て応援事業 子育て世帯の経済的負担を軽減
- 乳幼児医療費対策費 乳幼児福祉医療費助成の自己負担・所得制限の撤廃等
- 教科指導力 ステップアッププロジェクト 小中学校の指導力向上による学力の育成
- ① 新 エネルギー社会トップモデル形成推進事業 未利用エネルギーを活用した先導的なモデル地域づくり

## 挑む！

## 世界に向けて

経済のグローバル化が進展する中、世界へ羽ばたく県内企業を応援するとともに、世界から選ばれる活力に満ちた滋賀を目指します。

### 補 ウォーターバレー滋賀・水環境ビジネス推進事業

水環境に関する企業、研究所集積、ビジネスモデル創出・海外展開支援

#### ○ 海外展開支援事業

海外展開の相談窓口、海外の見本市出展、ベトナムへの展開支援

### ① 新 「世界農業遺産」プロジェクト推進事業

世界農業遺産の認定に向けた推進体制の構築、情報発信

### 補 国際観光推進事業

東・東南アジア等に加え欧米市場開拓のための観光プロモーション活動等

## 全国に先駆けて

滋賀ならではの経験と知恵を活かし、全国に先駆けた取組を展開します。

### ① 新 琵琶湖保全再生計画策定・広報啓発事業

琵琶湖保全再生計画の策定に向けた意見交換、広報啓発

### ① 新 がん患者の未来の家族計画応援事業

子どもを望む若いがん患者に対する精子・卵子等の保存処置の助成

### ① 新 無戸籍者支援事業

様々な不利益を受けている無戸籍者に対する相談窓口の設置

### ① 新 みんなで淡海子ども食堂をつくろう！ 応援事業

地域の子どもの居場所となる「淡海子ども食堂」の普及促進

### ① 新 キャトル・ステーション整備推進事業

子牛の哺育・育成を担う拠点の整備による近江牛の生産基盤強化<sup>11</sup>

# 人口減少を見据えた豊かな滋賀づくりへの施策

詳細は資料 2 へ

## 総合戦略の本格実施

総合戦略策定  
(平成 27 年 10 月)

H 2 7 年度補正予算  
27事業 703百万円

※国のH27補正  
「地方創生加速化交付金」を活用

「しごと創生」、「地方への人の流れ」、「働き方改革」分野の事業を先行して実施

<主な事業>

- ウォーターバレー滋賀・水環境ビジネス推進事業
- 「ピワイチ」サイクルツーリズム促進事業
- 移住・交流推進事業
- みんなで取り組む！中小企業働き方改革推進事業など

H 2 8 年度当初予算  
357事業 61,739百万円  
(うち公共事業 41,721百万円)

(1) 人口減少を食い止め、人口構造を安定させる

138事業 10,223百万円

(2) 人口減少の影響を防止・軽減する

168事業 49,018百万円  
(うち公共事業 41,586百万円)

(3) 自然と人、人と人とのつながり、生活のゆとりを取り戻す

51事業 2,498百万円  
(うち公共事業 134百万円)

## 主な事業概要

<夢や希望に満ちた  
豊かさ実感・滋賀の実現に向けて>

# 重点政策1

## 子どもの生きる力を育み、 若者や女性が輝く社会の実現

「結婚・出産・子育てするなら滋賀」プロジェクト

「豊かな学びのフィールド・滋賀」人づくりプロジェクト

“ひとつながり”の地域づくりプロジェクト

# 「結婚・出産・子育てするなら滋賀」プロジェクト



**若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える** 人口減少を食い止め人口構造を安定させる

【KPI】 出生数  
H26年12,727人→H31年13,000人

若者の結婚の希望を叶える

安心・安全な妊娠・出産ができる

安心して必要なときに必要な子育て・保育のサービスが受けられる

子育て家庭の多様なニーズに対応し、社会全体で支える

子どもたちが自立し、将来に夢を持って生活する

若者/結婚

妊娠・出産

子育て・子育て

(社会的困難を有する子ども)

若者の応援

新 「結婚・出産・子育てするなら滋賀」応援事業

新 結婚新生活支援事業費補助金

若者の就労支援

若年者就労トータルサポート事業

生み育てる医療の充実

周産期保健医療対策費

男性不妊治療助成事業

不妊治療助成事業

妊娠期からの虐待予防対策促進事業

風しん対策推進事業

子育て環境づくり

子育て支援環境緊急整備事業  
放課後児童クラブ施設整備費  
私学経営安定事業  
(※私立学校振興補助金・幼稚園部分)

子育て・保育の担い手の確保・養成

保育士修学資金貸付事業  
保育士・保育所支援センター運営事業  
家庭的保育者等養成事業  
放課後児童支援員認定資格研修事業

子育て支援員養成事業

経済的負担の軽減

新 多子世帯子育て応援事業(※第3子目以降保育料無料化)  
施設型給付・地域型保育給付(※多子世帯保育料無料化拡充)  
乳幼児福祉医療費助成事業費補助金

小児在宅療育支援事業

新 児童思春期・精神保健医療体制整備事業

多様な子育てサービスの充実

地域子育て支援事業  
淡海子育て応援団事業  
学校・家庭・地域連携協力推進事業

等

児童養護施設等で暮らす子どもの自立支援

新 児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり事業

新 施設を退所した子どもたちのアフターケア強化事業

等

子どもの貧困の連鎖の防止

新 子どもの貧困をみんなで考え、支えるプロジェクト事業

新 みんなで淡海子ども食堂を作ろう！応援事業

新 生活困窮世帯の子どもの学習支援事業

子育て世帯の雇用の確保・ワークライフバランスの推進

「俺の男女共同参画」推進事業

女性のターニングポイント応援事業

新 仕事と生活の両立支援事業

新 女性の多様な働き方普及事業

滋賀マザーズジョブステーション事業

UIターン助成事業

ワーク・ライフ・バランス推進事業

ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

等



# 希望する人が結婚できるよう、若者を社会全体で応援！



## 若い世代の結婚、就労の希望を叶える！

### 現状と課題

○未婚化・晩婚化 ・婚姻率(滋賀県) 5.3(H25)→5.0(H26) ・平均初婚年齢(滋賀県) 男30.5歳、女29.0歳(H26)

○出会いの場がない  
⇒出会いの場創出のための支援が必要  
⇒社会全体で若者を応援する  
気運の醸成が必要

○仕事と家庭生活のライフデザイン  
を学ぶ機会の不足  
○滋賀県は大学生が多い県  
⇒滋賀で結婚・子育てを考える機会  
の提供が必要

○若者の非正規雇用者の比  
率は高い傾向  
・15～24歳 30.7%(H26全国)  
⇒若者の自立・就労支援が  
必要

○交際相手との結婚に  
あたっての障害  
・「結婚準備資金」42.5%  
⇒新生活の経済的支援  
が必要

### 社会で若者を応援

### 若者への働きかけ

### 若者の自立・就労支援

### 結婚新生活の支援

#### 企業との協働

新「結婚・出産・子育てするなら滋賀」応援事業 【20.0百万円】

- 企業・団体による若者応援促進ネットワーク化
- 出会いの場づくりの支援
- 企業等と協働した応援キャンペーンの実施

○関係団体の連携、取組事例の発掘、情報発信

#### 大学との連携

- ・大学生の企画による少子化対策啓発事業を学生自ら実施！
- ・大学生に対する結婚・妊娠・出産の正しい知識、ライフデザインを考える講座の実施

●若年者就労トータルサポート事業 【24.9百万円】

「おうみ若者未来サポートセンター」での、  
・相談から就職までの一貫した就労支援、人材育成

●結婚新生活支援事業 【13.5百万円】

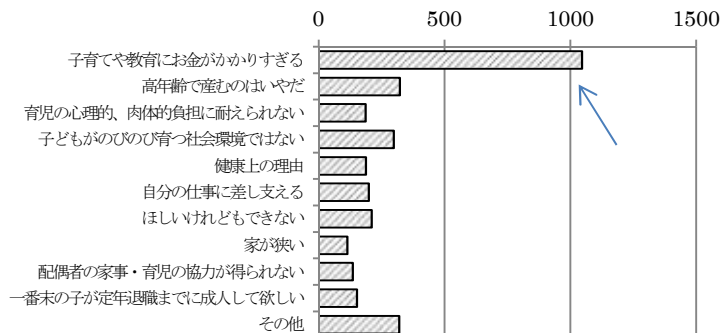
- ・新生活にあたっての低所得者への引越費用等の助成



## 子育て世帯の経済的負担の軽減

### 現状と課題

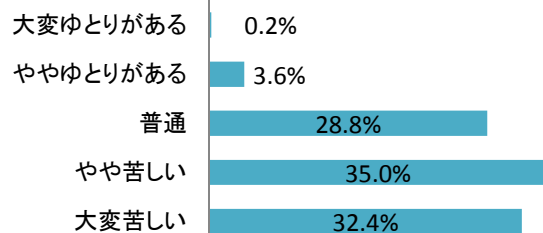
○実際に子どもをもつ数が理想より少ない理由「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が圧倒的に多く、子育て家庭の経済的負担の軽減が必要。



(出典) 滋賀県子育てに関する県民意識調査(2013年)

○児童のいる世帯の32.4%が「生活が大変苦しい」ことから、負担を軽減する必要がある。人口維持に向けた戦略を推進していく必要がある。

#### 児童のいる世帯の生活意識



(出典) 平成26年国民生活基礎調査(厚生労働省)

### 希望する数の子どもを生み育てられる環境づくり

#### 医療費の無料化

【予算額 1,013.8百万円】

乳幼児の医療費を無料化し、経済的負担の軽減を図る。

(拡充)

乳幼児福祉医療費助成の自己負担・所得制限の撤廃

#### 保育料の無料化

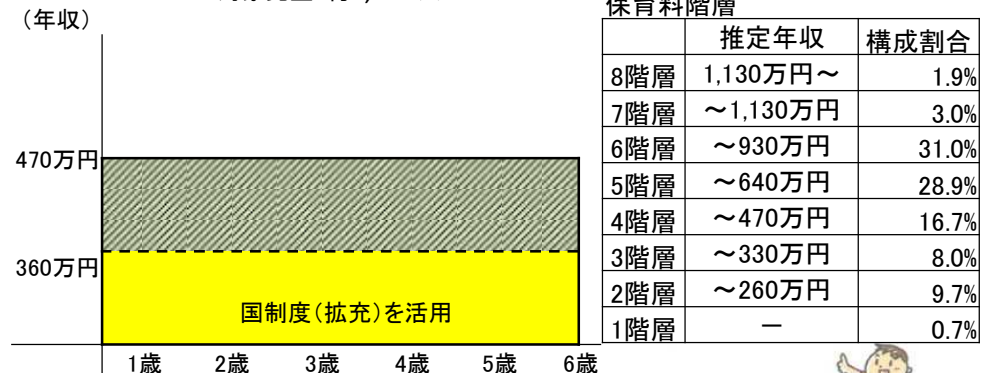
#### 新 多子世帯子育て応援事業

【予算額 139.4百万円】

多子世帯等の経済的負担の軽減を図る。

※470万円未満の第3子以降の保育料無料化を進める。

対象児童: 約1,900人



実際に子どもをもつ数が理想より少ない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎる」とする子育て家庭が多く、県として国制度を活用しながら、対象を拡大して子育て世帯を応援する。



## 子どもの貧困対策の推進

貧困の状況にある子どもが安心して生活し、自立できる

### 現状と課題

子どもの貧困率は16.3%で、約6人に1人の割合であるが、その実情は認識されにくい

子どもの居場所となる淡海子ども食堂は、現在県内に11か所あるが、子どもが徒歩や自転車で通える範囲には行き渡っていない

生活保護受給世帯は一般世帯と比べると高校進学率が低く、中退率が高い。

### 目的

子どもの貧困の実態像の共有  
→ 貧困対策の取組の機運醸成

子どもの居場所の県域での展開  
→ 子どもが安心して過ごせる場所の確保

高校等へ進学  
→ 充実した学校生活での将来への希望

### 新 子どもの貧困をみんなで考え、支えるプロジェクト事業

【予算額 0.9百万円】

#### ○研修会および情報交換会の開催

- ・対象：子どもの支援者  
(行政、福祉、NPO等)
- ・子どもの貧困調査結果のフィードバック
- ・支援活動の事例発表



### 新 みんなで淡海子ども食堂を作ろう！ 応援事業

【予算額 12.1百万円】

#### ○県域展開のためのコーディネート

- ・子どもの居場所づくりに関わる者を対象とした研修会の実施
- ・スクール・ソーシャル・ワーカーによる学校と福祉の連携モデルの取り組み

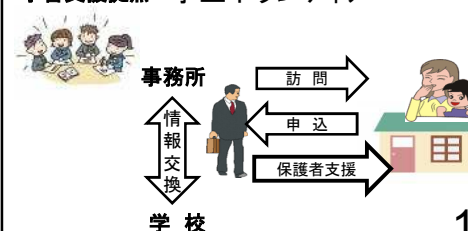
#### ○立ち上げ支援



### 新 生活困窮世帯の子どもの学習支援事業

【予算額 1.8百万円】

- 対象：生活保護受給世帯等の中学生
- 場所：公共施設(学習支援拠点)
- 支援体制：学習支援員  
学習支援拠点 学生ボランティア



# 教科指導力 ステップアッププロジェクト

**趣旨** ○「学ぶ力向上 滋賀プラン」の実効性を高め、授業の質・教科指導力の向上を図るための事業を総合的に実施し、児童生徒の学ぶ力を育成する。

**現状** ○「学ぶ力 滋賀プラン」の指標 ・「授業を改善する」視点では、  
小学校の伸び31.5ポイント（全国比 -23.5ポイント）  
中学校の伸び37.1ポイント（全国比 -42.7ポイント）

**課題** ○授業改善により、子どもたちにわかる・できる喜びを実感させ、学習への関心・意欲を高め、学ぶ力を育成すること。  
○きめ細かな指導の充実や繰り返し学習の推進により基礎・基本の学習の定着を図ること。  
○家庭学習の改善など、児童生徒の学習状況を改善して、主体的に学ぶ姿勢を育成すること。

## 滋賀県学ぶ力向上推進協議会

### きめ細かな指導の充実を図る

#### 学ぶ力パワーアップ事業 (少人数指導の推進)

小・中学校

- ・児童生徒へのきめ細かな指導による自主的な学習態度や学ぶ力の育成
- ・県内小・中学校22校を指定し加配教員を配置、学校の実情に応じた少人数指導を実施

#### 放課後等活用事業

小学校

- ・放課後等を活用し、授業と家庭学習につなぐ補充学習や運動遊び等を実施
- ・小学校に、放課後学習支援員(計100名)を派遣し、児童生徒の自ら学ぶ力を育成

#### 新 小学校専科指導の推進

小学校

- ・経験豊かな教員の指導力を生かした小学校専科指導の実施
- ・教科等指導力の向上にかかる小・中学校の円滑な接続を実施

### 授業改善を図る

#### 新 主体的・協働的な学び推進事業

小・中学校

- ・児童生徒の主体的・協働的な学び(アクティブラーニング)を図る学校改善、授業改善を実施(新学習指導要領の改訂を見据えた取組)
- ・県内小・中学校24校を地域拠点校として指定し、次期学習指導要領を見越した取組の推進と普及

#### 学年別ステップアップ事業

小・中学校

- ・小学校3年生～中学校2年生に、「学び確認テスト」(評価テスト・国・算・数・理)を作成・実施し、児童生徒の課題を把握
- ・「学び直しプリント」で、繰り返し学ばせることによる基礎・基本の定着や学ぶ意欲の向上を図る取組を推進

### 研修の充実を図る

#### 教科主任指導力向上研修

小・中学校

- ・国語、算数・数学等の教科指導力の向上と教科主任として力量形成の研修
- ・つけたい力を明確にした授業改善や専門的指導力の向上

#### 新 学ぶ力向上推進リーダー研修

小・中学校

- ・学ぶ力の向上に係る推進リーダーの力量形成研修を、県内の研究主任・教務主任対象に実施
- ・大学との連携による指導力向上

#### 学びの基礎体験型学習プロジェクト

保・幼・小

- ・県内5ブロックの各指定校で、公開授業を実施
- ・保幼小接続のカリキュラムの編成と実施

## 重点政策2

すべての人に居場所と出番があり、  
最期まで充実した人生を送れる社会  
の実現

高齢者の社会参加・健康長寿実現プロジェクト

働く力・稼ぐ力向上プロジェクト



## 最期まで充実した人生を送れる社会の実現

### 健康づくりの推進

～健康寿命の延伸に向けて～

#### ●健康寿命延伸プロジェクト

健康情報見える化事業（健康関連情報の発信）

新 県民の歯科保健実態の把握と見える化事業

野菜一皿 キャンペーン



滋賀県健康づくりキャラクター  
「しがのハグ&クミ」

#### ●がん対策の強化

検診

がん検診個別勧奨・再勧奨促進事業

働く

就労促進のための事業所啓発事業

暮らす

新 がん患者の家計プラン事業

希望

新 がん患者の未来の家族計画応援事業  
：子どもを望む若いがん患者に対する精子・  
卵子等の保存処置の助成  
小児がん患者支援事業

### 「滋賀の医療福祉」の実現

～県民の生活を支えるために～

#### ●在宅医療の推進

人材育成

新 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業

新 暮らしの看護パワーアップ事業

在宅看取り

新 病院診療連携構築モデル事業

在宅医療・看取り推進事業（在宅医療・看取りの県民参加促進）

在宅療養支援基盤整備事業（医療介護連携拠点の整備）

#### 新 “医療福祉拠点”の整備推進

医療福祉センター機能

- ①人材育成 ②情報発信・交流
- ③多職種間連携 ④事務所機能

人材養成機能

リハビリを中心とした専門職の養成機関

### 地域のつながり確保

新 無戸籍者支援事業 様々な不利益を受けている無戸籍者に対する相談窓口の設置

# 補 みんなで取り組む！ 中小企業働き方改革推進事業

## 1 課題

働き方改革が進んでいない。

## 2 平成27年度事業の状況

- ワーク・ライフ・バランス推進企業の登録・公表
- 啓発パンフレットの作成・配布
- セミナー開催、企業訪問 等

## 3 現在の事業における課題

- 働き方改革に取り組むメリットを企業が感じにくい。
- 取組手法がわからないなど、取組状況に差がある。
- 大学生等への働き方改革の啓発などができていない。

## 4 課題解決に向けて

### 滋賀県働き方改革推進ワーキングチーム

国・県

経済団体・県内企業・業界団体

労働関係団体

大学・短期大学

### 官民連携で施策検討、実践

## 5 平成28年度取組

①

働き方改革に取り組むメリットを  
滋賀の中小企業が具体的に感じられる取組

#### 滋賀の中小企業 魅力発信

- ・取組の点数化
- ・公式マーク制定
- ・企業の取組紹介  
(広報番組、冊子、出前講座)

#### 人材確保支援

- ・企業説明会開催

②

働き方改革への一歩を  
後押しする取組

- ・専門家(社会保険労務士)  
による相談支援

③

働き方改革へ理解を深め、  
関心を高める取組

- ・広報・啓発番組制作・放送
- ・学生等向け出前講座
- ・啓発パンフレット 作成・配布

KPI(重要業績評価指標) (H31年度)  
ワーク・ライフ・バランス推進企業登録数  
H26:699件 ⇒ H31:1,000件

中小企業の働き方改革を推進し、働きたくなる職場づくりを目指す



## 働く女性活躍応援

KPI: 女性の就業率(25～44歳) 平成22年度 66.4% → 平成32年度 73.0%

### 滋賀県の働く女性の状況

女性の労働力率のM字カーブの落ち込みが深い。  
H22国勢調査では、深さ順位全国39位  
一方で、女性の就業希望者(25～44歳)は、約35,000人

企業における女性の管理職の割合は2割に届かず。  
H22国勢調査では、全国43位の低さ

**働きたいが、子育てと仕事の両立に不安！  
子育てや介護により再就職が困難！**

**経営者・管理職の意識改革が重要！  
女性社員に対する研修機会の提供が必要！**

### 再就労支援

#### ◆ 滋賀マザーズジョブステーション事業 【51.2百万円】

子育てをしながら再就職を希望する女性等を対象とし、仕事と子育ての両立に向けたアドバイスや託児の実施、就労相談、求人情報の提供や職業紹介など、就労支援をワンストップで行う「滋賀マザーズジョブステーション」を運営

#### 新 女性の多様な働き方普及事業 【5.7百万円】

女性の多様な働き方を普及するため、育児や介護などにより、外で働くことが困難な女性を対象とした在宅での働き方を考えるセミナーおよび企業を対象とした社員の在宅勤務や在宅ワーカーの活用などについてのセミナーを開催

### 働く場における女性活躍支援

#### ◆ 女性のターニングポイント応援事業 【0.9百万円】

女性の継続就業を促進するため、働く女性のターニングポイント(結婚前および育休復帰前)に焦点を絞り、キャリアビジョンを描くためのセミナーを開催

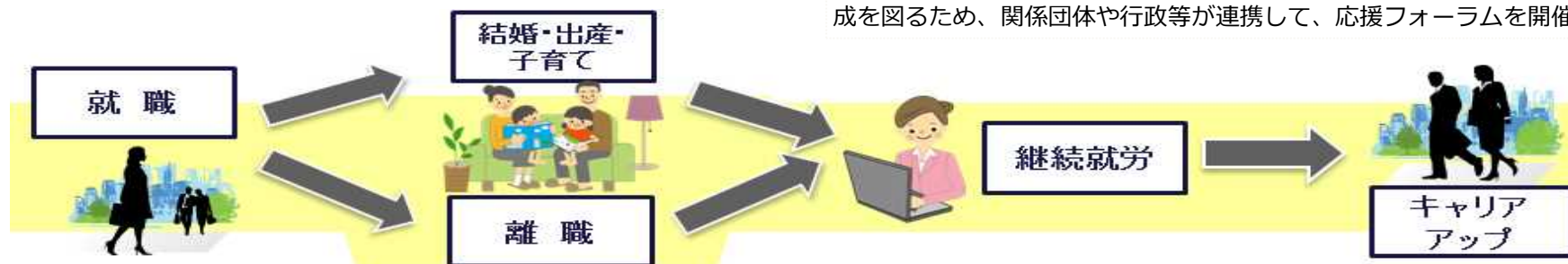
#### ◆ 働く場における女性活躍推進事業 【2.8百万円】

企業における女性の活躍を推進するため、経営者等の意識改革、働く女性自身の資質向上および意欲高揚とネットワークづくりを進めるためのセミナーを開催。また、県内企業の先進的な取組、多様な分野で活躍する女性のメッセージなど、具体的な事例を「見える化」し、わかりやすく効果的に発信するための啓発冊子を作成

#### ◆ しがの女性活躍応援事業 【0.4百万円】

働く場、地域活動等への女性の参画をはじめ、女性が多様な生き方や働き方を選択し、持てる力を存分に発揮できる社会の実現に向けた社会気運の醸成を図るため、関係団体や行政等が連携して、応援フォーラムを開催

### 女性のライフステージに応じた切れ目のないきめ細かな支援



## 重点政策3

# 滋賀の強みを活かし、新たな強みを 生み出す滋賀発の産業の創造

滋賀ウォーターバレープロジェクト

次世代のための成長産業創出プロジェクト

産業人材育成・確保プロジェクト

滋賀エネルギーイノベーションプロジェクト

# 補 ウォーターバレー滋賀・水環境ビジネス推進事業

## 目的

- 産学官民に蓄積されてきた琵琶湖保全の技術や経験、ノウハウ等を活かして、企業や大学等の研究機関、製品や技術、情報が集積され、水環境ビジネスが自律的に推進されることを目指す。
- 平成28年度は、これまで構築してきた「しが水環境ビジネス推進フォーラム」（129社／H28年1月現在）の活動やネットワークを足掛かりにして、県内企業とともに「琵琶湖モデル」を展開し、高い成長が見込まれるアジア市場を重点にビジネスプロジェクトの一層の創出・展開を図る。

### ①プラットフォーム活動

#### ●広報活動

- ・「琵琶湖モデル」およびフォーラム参加企業の多言語による紹介冊子・DVDの作成



#### ●情報提供・収集活動

- ・セミナーの開催等により、海外の水環境課題に関する情報の提供・共有や、ネットワークの構築

### ②プロジェクトチームの組成・運営

#### ●分科会の開催

- ・プロジェクトの創出に向けた、海外展開対象国ごとのチームの組成・運営の強化

\*対象国（予定）

- ・中国
- ・台湾
- ・ベトナム

- ・専門家派遣等

### ③ビジネスプロジェクトの創出・展開

#### ●海外展開事業化モデル事業

- ・事業化の加速に向け、県内企業がチームを組んで行う実現可能性調査、現地での実証実験、効果の検証を支援し、効果の「見える化」を図る
- ・上限1000万円×2か所(補助率1/2)

#### ●商機拡大等支援

- ・海外や首都圏等での見本市への出展による販路開拓・マッチング機会の拡充

#### ●プロジェクト創出に向けた案件発掘・コーディネート等事業

- ①対象国の情報収集・分析、課題発掘、ビジネス化に向けた方向性の整理
- ②プロジェクト創出に向けたメンバー企業の開拓、パートナーの発掘
- ③事業計画の策定、国資金等の活用支援
- ④現地政府機関等との協議・調整、現地企業等との技術交流・マッチング



ビジネスモデルの具現化と横展開

ウォーターバレー滋賀の推進！

企業や技術、情報等の集積

## 補 産業人材育成・確保のグッドジョブ プロジェクト事業

GOOD!



## 1 背景・課題

(背景)

- 大企業と中小企業の大卒求人倍率は約5倍の差
- 県内大学の卒業生の約9割が県外で就職

出典:リクルートワークス研究所「大卒求人倍率調査」等

(現事業における課題)

- 企業情報が不足しており、蓄積できていない
- 企業・大学(学生)をつなぐ仕組みが無い、etc..

## 2 課題解決に向けた視点

1. 企業情報の集約・蓄積により事業効果を高める
2. 産官学金連携による協議会を立ち上げ、企業と大学をつなぐ

## 3 平成28年度の取り組み

〔人材育成・確保の支援:新規〕

## 1. インターンシップの推進

- 協議会で県内のインターンシップに係る意見交換
- インターンシップの試行実施など

## 2. 企業の人材確保に関する相談窓口の設置

## 3. 企業情報サイト「WORKしが」の改修

## 4. 企業情報の収集・企業PR冊子の制作

## 5. 企業と大学を繋ぐ交流会の開催



## 5 KPI (重要評価指標)

- 滋賀グッドジョブ推進協議会  
➢13大学および企業40社の参画
- インターンシップ試行実施  
➢5企業に対し学生20名の参加

目標

## 4 取り組みのイメージ

大学(学生)  
環びわ湖大学・地域コンソーシアム

## 1. インターンシップの推進

## 2. 人材確保に関する窓口相談

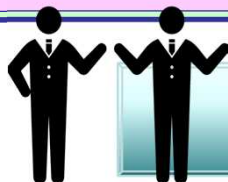
協議会  
構成メンバー  
(案)

- ・大学
- ・経済団体
- ・金融機関
- ・県内企業
- ・行政機関

県内企業・農業法人等

## 3. 企業PR冊子 4. 「WORKしが」による情報発信

## 5. 企業と大学を繋ぐ交流会の開催



産業人材の育成および確保



# 新しいエネルギー社会づくりの推進



しがエネルギービジョン

平成28年3月  
策定予定

ビジョンの  
総合的な推進

重点プロジェクトの推進

主な事業

➤ 新しいエネルギー社会づくり総合推進事業

直轄

基本方針（4つの柱）

8つの重点プロジェクト

● エネルギーの消費を『減らす』  
≪省エネルギー・節電の推進≫

(1) 省エネルギー・節電推進  
プロジェクト

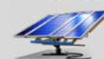


➤ スマート・エコハウス普及促進事業  
➤ 事業所創エネ・省エネ促進事業  
➤ 地球温暖化対策推進事業

直轄  
琵琶湖

● エネルギーを『創る』  
≪再生可能エネルギーの導入  
促進≫

(2) 再生可能エネルギー総合推進  
プロジェクト



➤ スマート・エコハウス普及促進事業(再掲)  
➤ 事業所創エネ・省エネ促進事業(再掲)

直轄

(3) 小水力利用促進  
プロジェクト



➤ 県営農村地域再生可能エネルギー施設整備事業  
➤ 県営姉川ダム水力発電事業

農水  
土木

(4) バイオマス利用促進  
プロジェクト



➤ エネルギー社会トップモデル形成推進事業  
➤ 木質バイオマス利活用促進事業

直轄  
琵琶湖

(5) エネルギー自治推進  
プロジェクト



➤ 地域コミュニティ支援事業  
➤ 地域拠点づくり支援事業

直轄

● エネルギーを『賢く使う』  
≪エネルギーの効率的な活用の  
推進≫

(6) エネルギー高度利用推進  
プロジェクト



➤ 事業所創エネ・省エネ促進事業(再掲)  
➤ 次世代自動車普及促進事業

直轄  
琵琶湖

(7) スマートコミュニティ推進  
プロジェクト



※ 国の外部資金を活用  
(経産省「地産地消型再生可能エネルギー  
面的利用等推進事業費補助金」等)

直轄

● 3つの取組を『支える』  
≪エネルギー関連産業の振興、  
技術開発の促進≫

(8) 産業振興・技術開発促進  
プロジェクト



➤ エネルギー技術開発オープンイノベーション  
促進事業  
➤ プロジェクトチャレンジ支援事業

商労

部局連携  
による  
総合的な  
推進

重点期間  
(H28-32)  
初年度の  
着実な  
スタート

# 新 エネルギー社会トップモデル形成推進事業

## 事業の趣旨・目的

- 民間事業者等による地域の特性に応じた未利用エネルギー等を活用した先導的なモデル地域づくりに向けた取組を支援する。
- 平成28年度においては、間伐材等の木質バイオマスや食品廃棄物・家畜排せつ物等のウェット系バイオマスなど地域の特性に応じた資源を有効活用し、持続的かつ安定的なエネルギーとして利用する社会を構築することにより、地域における課題の解決や地域の活性化、雇用の創出、低炭素社会の実現、レジリエンスの強化に繋がる地域モデルの事業化可能性調査を実施する。

## 制度の概要

- 対象事業
  - ✓ 事業化可能性調査(FS調査)
- 予算額
  - ✓ 20,000千円(定額、上限10,000千円)
- 補助対象者
  - ✓ 民間事業者(市町との共同申請)

## 先導的なモデル地域の形成



## ロードマップ

国等の外部資金  
を活用  
※H27地方創生  
先行型交付金

県費で対応

|                                                                                                                    | H27 | H28            | H29 | H30      | H31      | H32 | 成果指標                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------|-----|----------|----------|-----|---------------------------------------|
| ◆工業団地スマートエネルギーシステム<br>◆市街地等スマートエネルギーシステム<br>◆広域型スマートエネルギーシステム<br>○下水熱ポテンシャルマップ作成等※<br>○林業ハブ・ワーアップ・木質バイオマス搬出促進の実証等※ |     | 実装<br>計画<br>計画 |     | 実装<br>実装 |          |     | 面的創出・<br>利用モデル<br>形成件数<br><br>5件(H31) |
| 想定 ◆木質バイオマス地域モデル<br>◆ウェット系バイオマス 等                                                                                  |     | FS<br>FS       |     | 計画<br>計画 | 実装<br>実装 |     |                                       |



# 新 エネルギー技術開発オープンイノベーション促進事業



## 目的

「エネルギーイノベーションに資する素材開発」を目標に、県内大学等有する基礎的・萌芽的な研究成果に対し、企業への技術移転に向けた研究開発や分析評価に強みを持つ工業技術センターの橋渡し機能の強化・活用を図ることにより、本県における実用化のための産学官共同開発を促進し、滋賀県発エネルギーイノベーションの創出による地域産業活性化を目指す。

## 事業内容

「エネルギーイノベーションに資する素材開発」として、鋼鉄の5倍の強度と1/5の重さを備え、「日本再興戦略」改訂2015にも研究開発等への取組の促進が記載されるなど、省エネルギーに資する高強度・高機能材料として応用が期待されるセルロースナノファイバーの応用研究に取り組む。基礎的・萌芽的な研究成果を有する県内大学等と、実用化に向けた研究開発や分析評価に強みを持つ工業技術センターとの連携により、実用化に向けた研究開発を促進する。

